

愛知教育大学・科学・ものづくり教育推進センターでは、これまで2ヶ月に1度の割合で天文台一般公開を行って来ましたが、2011年度から、これまでの奇数月に開催している一般向けの講座の他に、年4回程度の子どものための天文ミニ講座と観望会を、年数回のサイエンス・カフェを開催します。サイエンス・カフェとは、その時々科学的な話題についての講座の後、お茶やジュースとちょっとしたおやつをつまみながら、講師を交えた参加者の方々が科学的な雑談をする会のことです。その後、星が見えていれば、40 cm 反射望遠鏡で、見頃を迎えている天体の観望会も行います。

科学・ものづくり教育推進センター ホームページ：<http://www.step.aichi-edu.ac.jp/step.html>

愛知教育大学 第3回サイエンス・カフェ と 土星の観望会 2011年6月4日(土) 17:00~(参加無料・申込み不要)

◆サイエンスミニ講座 1 (17:00~17:30)

「宇宙線と放射線」

講師：愛知教育大学教授・児玉康一

地表には、大地を起源とする放射性物質からの放射線と、宇宙を飛び交っている放射線(宇宙線)を起源とする放射線の両方が飛び交っています。これら自然放射線の持つ基本的な性質についてのお話をします。放射線そのものは非常に小さく、また、高速で飛び交っているため、それらを直接目で見る事はできませんが、それらが空気などの物質を通過する際に引き起こす現象を利用して、放射線をとらえる(検出する)事ができます。その原理についてのお話もします。

◆サイエンスミニ講座 2 (17:30~18:00)

「放射線と私たちの健康」

講師：愛知教育大学講師・榊原洋子

世界で唯一の原爆被爆国である日本では、放射線による健康影響の重みがよく知られています。今回の福島原発事故では放射性物質が環境中に放出され、4月19日に文部科学省から出された方針は、福島県内の学校・幼稚園では「校庭での放射線濃度が1時間あたり $3.8\mu\text{v}$ を超えた場合、屋外活動を制限する」というものでした。この措置は妥当なものでしょうか。それとも妥当とはいえないのでしょうか。普通の人々が普通に生活する上で、放射線による健康リスク(=放射線によって体に起こる悪い影響)を減らすためにはどうしたらよいのかを考えていきましょう。

◆宇宙線の観望会 (18:00~18:20)

ドライアイス霧箱を使って身の回りを飛び交っている自然放射線を観望してみます。霧箱の中を放射線が通過すると、その後に飛行機雲ができて、放射線の通った跡を目で見ることができます。

◆カフェタイム (18:20~19:00)

講座の内容や、宇宙、科学などについて、お茶やジュースとちょっとしたおやつをつまみながら、講師と参加者のみなさんとが気軽に話をする時間です。みんなでワイワイと、宇宙について語り合しましょう。

上記の会場はいずれも自然科学棟5階538教室

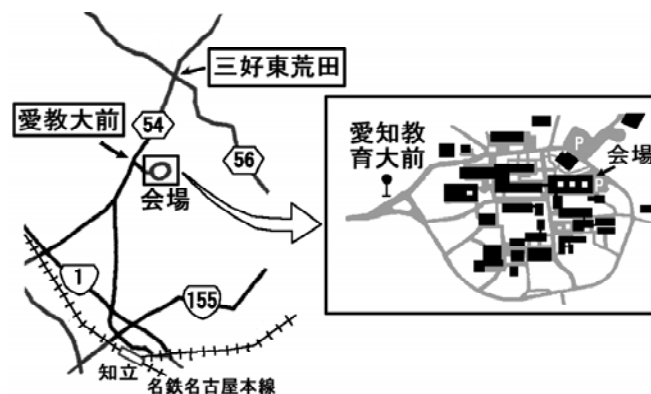
◆土星の観望会 (19:00~20:00)

天体：土星

会場：自然科学棟屋上 天文台

この日の夜には、東の空に土星が輝いています。土星とは、昨年以來ほぼ半年ぶりのご対面となります。今年の土星の輪は、まだかなり細く見えています。この細い輪を持つ、かわいい土星の姿をお楽しみください。輪の近くには土星の衛星も見えんと思います。

会場案内



サイエンス・カフェ 問合せ先

愛知教育大学 理科教育講座 児玉研究室
〒448-8542 刈谷市井ヶ谷町広沢1 TEL:0566-26-2346
E-mail: kkodama@aeu.ac.jp

今後の予定

2011年全国同時七夕講演会

日時：2011年7月7日(木) 18:00 ~

・天文ミニ講座 18:00 ~ 19:00

題目：未定

講師：愛知教育大学教授・沢武文

・「七夕星空観望会」：19:00 ~ 20:30

愛知教育大学天文台第64回一般公開

日時：2011年7月23日(土) 18:00 ~

・天文ミニ講座 18:00 ~ 19:00

題目：未定

講師：愛知教育大学教授・沢武文

・「夏の星空観望会」：19:00 ~ 20:30